

# 新

# 春

# を



津島市長  
日比 一昭

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年、1月1日に発生した能登半島地震から1年が経過しました。いつ起こるかかわからない災害に備えて、家庭でできる備えについて年初に話し合ってみてはいかがでしょうか。

さて、津島市では、令和5年度から「まちづくり再生」と「子育て支援」の2大プロジェクトを進めており、子どもが生まれる前から生み育てるまで、丸ごと応援するための「子育て支援トータルプラン」として子育て世代を応援するための事業を実施しております。18歳までの子ども医療費の完全無料化、第2子以降の保育料の完全無料化、市内の全小中学校の給食費完全無料化、保育所等の副食費半額補助、0歳児の紙おむつなどの子育て用品が選べる無料定期便など、全国トップクラスの子育て支援に取り組んでいます。

防災・減災対策では、万が一に備え、災害時の避難所となる神島田小学校、高台寺小学校、蛭間小学校の3校に

耐震性貯水槽を設置してまいりました。さらに令和6年度末には南小学校と神守小学校の2校へ設置いたします。引き続き令和7年度には、東小学校と西小学校の2校への設置に向け、現在実施設計を進めているところであります。

さらに、もう一つの2大プロジェクト「まちづくり再生」では、官民連携事業第1弾天王川公園Park-PFIによる「スターバックスコーヒー」の出店に続き、官民連携事業第2弾として、津島神社周辺エリアの観光ターミナル拠点として、たいへん知名度のある「宮きしめん」の誘致に成功いたしました。さらに第3弾として、いちい信用金庫様より寄附を受けた旧天王通り支店をシビックプライド醸成拠点の活用に向け、引き続き知名度のある「丸善雄松堂株式会社」等の事業体と連携し、更なる賑わいの「核」となる拠点の整備をすすめていく予定であります。

また、本市の玄関構想(ゲートウェイ・プロジェクト)「東の玄関」では、東公園一帯整備事業を進めるにあたり、レクリエーション・スポーツ拠点として東公園の基本構想の具体化を図り、より一層の魅力向上を目指してまいります。

「住んでみたい」「住んでよかった」と思っただけ、賑わいあふれるまちづくりを目指して取り組んでまいります。

本年が、市民の皆様にとりまして、健康で幸せな年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



愛知県知事  
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、3月に「ジブリパーク」がフルオープンし、10月には国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」が誕生しました。

世界が注目するこの2つの施設を起点に、世界中から、たくさんの人や最先端の技術・サービスを呼び込み、愛知をさらに元気にしてまいります。

そして、今年7月には、いよいよ、アジア最大級・世界最先端のスマートアリーナ「IGアリーナ」がオープンします。スポーツ・エンターテインメントの拠点として、「ジブリパーク」や「STATION Ai」との相乗効果を生み出し、世界と大交流する愛知を創り上げてまいります。

また、愛知万博20周年の今年は、3月25日に「愛・地

球博20祭」が開幕します。「ジブリパーク」とも連携しながら大いに盛り上げてまいります。

今後も、2026年の「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」、2028年の「技能五輪国際大会」など、愛知・日本を元気にするプロジェクトが続きます。

これらのプロジェクトを着実に進め、ここ愛知から、日本の成長を牽引してまいります。

また、喫緊の課題である人口減少・少子化対策を始め、社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。

引き続き、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



津島市議会議長  
垣見 啓之

新年あけましておめでとうございます。

令和7年が始まりました。市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、市政並びに市議会の活動に対しまして、皆様の温かいご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、日本列島が災害に翻弄された年であったと思っております。昨年元日に起こった能登半島地震にはじまり、8月に発生した日向灘の地震では、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表され、9月には能登半島豪雨が発生し、震災地域が再び甚大な被害に見舞われました。亡くなられた方にお悔やみ申し上げるとともに、被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。改めて、災害対策を考えていくことが重要であると認識させられました。

また、津島市議会では、昨年の9月定例会より、タブレッ

ト端末の本格導入をし、議案などの資料は基本的にタブレット内にデータとして収納され、紙媒体での配付をなくしました。今後も議会のICT化、ペーパーレス化を推進していきます。

さて、今年3月の春休み期間中に、昨年も行いました「議会見学会」の開催を検討しております。この議会見学会は、コロナ禍前に開催しておりました「議会報告会」を見直し、市民の皆様に議会をより身近に感じてもらうと企画したものであります。前回のアンケート結果を踏まえ、さらに親しみやすい「議会見学会」を考えており、詳しくは「議会だより」やホームページなどでご案内いたしますので、ご確認ください。

今後とも皆様の目線に立って、皆様の負託に応えることができるよう、身近で、開かれた議会運営を心がけていきたいと思っております。

まだまだ寒い日が続きます。インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染予防対策をし、健康に気をつけてください。そして、本年が市民の皆様にとりまして、健康で幸多き年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



愛知県議会議員  
中野 治美

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

2026年、アジア・アジアパラ競技大会が愛知県・名古屋市で開催されます。現在準備が進められているなかで、建設中の愛知県新体育館（IGアリーナ）は本年夏完成予定です。名古屋の夏の風物詩でもある大相撲名古屋場所や、2026年ミラノ・コルティナダンペッツォオリンピック直前のフィギアスケートGPファイナルの会場にもなります。スポーツやエンターテインメントの拠点として、皆様楽しんでいただけるアリーナが誕生します。

昨年は、能登半島地震をはじめ相次ぐ豪雨や台風等による大規模自然災害が日本の各地で発生しました。国内最大の海拔ゼロメートル以下の地帯が広がる私たちの暮らす地域にとり、防災減災対策は暮らしの全ての基本です。

東海北陸自動車道と湾岸道路を結ぶ一宮西港道路は、交通の利便性を高めるのみでなく、大規模災害発生時には救命・救急活動や救援活動に必要な「いのちの道」となります。早期実現をめざし、全力で推進してまいります。

主要幹線道路の名古屋津島線バイパスは、現在、七宝工区・萩原工区・牛田工区において整備を進めています。慢性的な渋滞緩和が期待されるだけでなく、防災の面では、緊急輸送道路としても位置付けられています。

また、私たちの暮らす地域において、排水は排水機に頼らざるを得ません。近年の激甚化するゲリラ豪雨に対応するため、日光川河口に新たに排水機場の増設を図るよう国に強く要望しており、実現に向け努力してまいります。

皆様の命と安心・安全な暮らしを守るため、危機に強い地域づくりを着実に進めてまいります。

子どもさんから高齢者、多様な方々が、希望をもって暮らせる愛知・津島を目指して全力で取り組んでまいります。

本年が皆様にとり健康で輝かしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。